

茨

〔延喜式大膳三十三〕仁王經齋會供養料

僧一口別菓菜料略中 根蓐一把漬菜料

〔古事記應神〕天皇聞看豐明之日於髮長比賣令握大御酒柏賜其太子仁德御歌曰美豆多麻流余
佐美能伊氣能韋具比宇知比斯賀良能佐斯祈流斯良邇奴那波久理波閉祈久斯良邇和賀許々呂
志叙伊夜袁許邇斯氏伊麻叙久夜斯岐

〔古今和歌集俳諧九〕題しらす

かくれぬのしたよりおふるねぬなはのねぬなはた、じくるないとひそ

たゝみね

〔曾根好忠集〕四月中

河上のあらふの池のうきぬなはうきことあれやくる人もなき

えたがふ

〔拾遺和歌集雜春十六〕題しらす

年ごとに春はくれども池水におふるぬなははたえすぞ有ける

〔新撰字鏡草〕茨

疾脂反蓋屋 水不々支 茨巨險反鷄頭 菱水不々支

〔倭名類聚抄水菜十七〕茨 爾雅注云茨音儉和名一名雞頭草其實似鳥頭故以名之

〔箋注倭名類聚抄藻九〕按是草生水中葉似款冬故名水款冬今俗呼於爾波須蜀本圖經云葉大如荷

皺而有刺是所以得鬼荷之名也

〔饅頭屋本節用集草美〕水入中

〔書言字考節用集六〕茨實頭雁頭並同時珍云三月生葉貼紫花向日結

〔大和本草水草〕茨實 葉ハ蓮ニ似テ大ニシテ葉水上ニウカビ皺アリハリアリ實ハ莖上ニアリ

苞ノ形鶏頭ノ如シ故ニ鶏頭實ト云苞アリテツメリ其内ニ實數十顆アリマルシ實ノ内白ク

シテ抹スレバ米粉ノ如ク味モ亦甘美ナリ藥トシ食トス毒ナク性ヨシ凶飢ヲ助ク池塘ニ多ク